# 日本年金機構における令和7年度の広報活動

# 基本的な 考え方

#### 日本年金機構に おける広報活動

年金制度を実務にする、すなわち「無年金・低年金の発生を防止し、制度の公平性を維持し、正確に給付する」という当機構の使命を果たすため、公的年金事業に対する理解と信頼の確保に向け、国民の皆さまが求める情報を分かりやすく提供すること

令和7年度の 広報活動 組織目標**「挑戦と改革 - お客様サービスの一層の向上のためデジタル化を推進-」**のもと、次の重点取組施策の実行にあたり、積極的な広報を含め、必要な広報活動を実施する

- ・「業務処理のオンライン化の推進」「お客様チャネルの再構築」を通じた、お客様サービスの一層の向上、及び正確かつ効率的な事務処理の確立
- · 「基幹業務の更なる推進」を通じた、公的年金制度及びその事業運営へのお客様の信頼を確保し、国民生活の安心と安定に寄与

#### (基本方針)

積極的な広報の推進にあたり、対象事業や対象者の特性に応じた手法を取り入れることで、お客様の目線に立った効果的な情報提供を進め、情報の不足や誤解による不利益の発生防止に努める

令和7年度の広報活動における重点事項(主なもの)は次のとおり。

#### ■ 基幹業務 国民年金

- 20歳到達者等、若年層に対する制度周知や制度理解の促進
- 〇 ハローワークや市区町村等と連携した制度周知、国民年金の加入や保険料免除 の手続きの案内
- 外国人支援・交流団体等との連携や、多言語リーフレットを活用した外国人へ の制度周知
- 〇 口座振替・クレジットカード納付等、多様な納付方法の案内や、各種収納対策 に合わせた制度周知の実施

#### ■ 基幹業務\_厚生年金保険

- 適用事業所における未適用者の解消に向けた年金制度の周知
- 外国人事業主の円滑な手続きの推進に向けた多言語のリーフレットやホーム ページの活用

## ■ 基幹業務\_年金給付

- 年金の請求案内等について、分かりやすさ向上のための見直しの実施
- 「老齢年金請求書」及び「扶養親族等申告書」の電子申請の利用者拡大に向けた周知

#### サービスのオンライン化

[個人向けオンラインサービス]

・各種サービスの利用促進に向けた取組 (参考:令和6年度末時点の「ねんきんネット」の利用者数 約1,355万人)

[事業所向けオンラインサービス]

- ・中小規模の事業所への電子申請利用勧奨の強化
- ・オンライン事業所年金情報サービス(※)の利用促進(※)事業所に対し保険料額等を電子的に提供するサービス

#### ■ 分かりやすい情報提供の推進(詳細はP2参照)

- ホームページやお客様向け文書をより分かりやすくするための取組
- 外国人の利用の多いSNSとして新たにFacebookの利用を開始

## ■ 公的年金制度に対する理解の促進(詳細はP2参照)

- 〇 年金セミナー・年金制度説明会等の充実
- 〇 「ねんきん月間」「年金の日」における取組の充実

#### ■ その他の広報活動

- 戸籍等の記載事項への氏名の振り仮名追加(戸籍法改正)に係る年金振込への 影響等の周知
- 年金相談のネット予約の利用促進に向けた周知

# 日本年金機構における令和7年度の広報活動(分かりやすい情報提供の推進/公的年金制度に対する理解の促進)

# ● 分かりやすい情報提供の推進

## ① 機構ホームページのデザインの見直し

・より情報へたどり着きやすく、 利用しやすいホームページを目 指し、令和8年4月に**デザインや** サイト構成の見直しを実施する こととしており、令和6年度に基 本デザインを作成済。令和7年度 に詳細なデザイン作成とデザイ ンの実装作業を行う。



見直し後のトップページ案

## ② Facebookの利用開始(令和7年5月予定)

・SNSの利用に関し、機構は現在、X(旧Twitter)の公式アカウント を開設し情報発信を行っているが、外国人の利用の多いSNSとして 新たにFacebookの利用を開始することで、幅広い対象に向けた情報 発信を推進する。



# ● 公的年金制度に対する理解の促進

## ① 年金セミナー・年金制度説明会等の充実

- ・高校や大学等教育機関を中心とした取組に加え、学生が社会人となり 給料から保険料が控除される状況を契機と捉え、保険料の納付や追納 等について理解していただくため、新社会人向け年金セミナーを推進。
- ・基幹業務推進活動の重点取組として「オンラインサービスの推進」 及び「外国人への適用・収納対策」を軸とした<u>積極的な取組</u>を実施。 ⇒事業所担当者や年金委員に説明会を実施し、従業員への周知を依頼。





# ②「ねんきん月間」「年金の日」の取組の充実

- ・「こども絵画展」や「年金ポスターコンクール」を可能な限り全国で実施。また、「幼稚園・保育園、小学生とその保護者」や中学生を対象にした年金セミナーを開催するなど、世代間の支えあいをテーマに、 家族で年金について考えていただく機会を提供。
- ・厚生労働省と連携し、多様かつ新たな発信手法を含めメディアへの積極的な広報を展開。







# (参考) 令和6年度広報活動の実績報告① (基幹業務関係/ホームページ等)

# 短時間労働者の適用拡大

令和6年10月の適用拡大に関し、制度改正の趣旨や内容、手続き等の周知 に向けて、厚生労働省と連携のうえ様々な取組を実施。

#### 【主な取組】

- ・適用拡大の対象となる事業所に対し、 「適用拡大ガイドブック」や厚生労働 省年金局作成の広報コンテンツ等を 送付
- ・年金事務所職員の訪問による制度 周知の実施
- ・事業主や従業員への制度周知を目的 としたインターネット広告の実施

インターネット広告 (従業員向け)



# 外国人に対する適用・収納対策

多言語のリーフレットやホームページに よる制度案内を充実させる取組を実施。

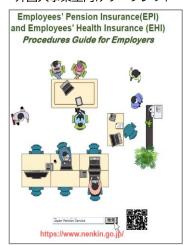
## 【国民年金の例】

- ・分かりやすい日本語を用いた年金制度 のQ&Aをホームページへ掲載
- ・法務省(出入国在留管理庁)の外国人 生活支援ポータルサイトに機構ホーム ページへのリンクを設置
- ・空港や出入国在留管理局窓口へのリーフレットの設置

## 【厚生年金の例】

・外国人事業主向けのリーフレット(英語版)を作成

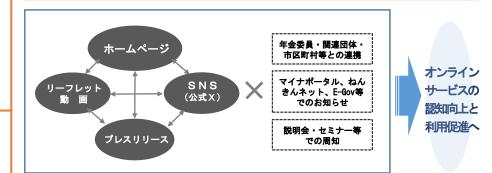
#### 外国人事業主向けリーフレット



# オンラインサービスの推進

令和6年6月から新たにサービスを開始した老齢年金の電子申請をはじめ、各種オンラインサービスの利用促進に向け、リーフレット類・説明動画等の周知媒体作成のほかホームページ・SNS(公式X)での発信やプレスリリースを実施。これらに加え、以下の様々な手段を組み合わせることで、認知の向上と利用の促進を図った。

- 年金委員や関係団体、市区町村等を通じた働きかけ
- マイナポータル・「ねんきんネット」のお知らせ機能やe-Govを通じたプッシュ 通知等による周知やホームページへの誘導強化等
- 説明会・セミナー等での周知



# ホームページの改善

閲覧したい動画に辿り着きやすくするため、 掲載中の全ての動画を縦覧できる「動画ポー タルページ」を新設する等の改善を実施。

#### 動画再生回数の推移

野四 <del>円</del> 土凹致V/在修			
	令和4年末	令和5年末	令和6年末
掲載本数	60本	84本	92本
再生回数 (年度初からの累計)	46.3万回	95.3万回	137. 4万回
		-	

#### 動画ポータルページ



前年同期比+42.2万回と大きく伸長

# (参考) 令和6年度広報活動の実績報告② (年金セミナー・制度説明会の開催/エッセイの募集等)

# <u>年金セミナー</u>





高校生・大学生等に年金制度の意義や仕組みについて理解を深めていただくための「年金セミナー」を、各学校のニーズやご要望に応じて対面、オンライン、動画提供により実施。

実施回数: 2,193回(前年同期比 +177回)

参加人数:115.049人(前年同期比+17.444人) [令和6年12月末現在]

#### 【年金セミナー用動画】









**条件界の頂点目指す** 

対面やオンラインでの実施が困難な教育機関に対しては、動画を案内したリーフレットやDVDを配付。

# 年金制度説明会







適正な届出の励行のため、短時間労働者適用拡大や事業所調査時における指摘の多い事例等の説明会を実施。

また、<u>確定申告会場</u>に出張し、オンラインサービスの利用に向けた相談会を実施。

実施回数: 2,146回(前年同期比 +511回)

参加人数:103,206人(前年同期比 +30,986人) [令和6年12月末現在]

# ねんきん月間・年金の日







ねんきん月間期間中は、公的年金制度の普及・啓発活動を集中的に実施。 年金の日(11月30日)は、全ての年金事務所で年金相談を実施し、併せて商業施設 等での出張年金相談や年金に関する作品の展示などの取組を実施。

# わたしと年金エッセイ







年金制度をより身近なものとなるよう6月~9月の間エッセイを募集。 全国から1,609件の応募があり、11月29日に厚生労働省で表彰式を実施。 また、過去の受賞作品をアニメーション化し、機構ホームページに公開。

# 品質の向上







年金セミナーや年金制度説明会の品質の向上を図るため、プレゼンテーションスキルを競い合うコンテストを実施。令和6年度は「新社会人向け年金セミナー」をテーマとして実施。

